

0歳からOK!

千葉県誕生150周年記念

邦楽四重奏団in青葉



©Ayane Shindo



©Ayane Shindo



©Ayane Shindo



©Yasumoto Akira

令和6年2月24日(土) 14時開演 (13時30分開場)
青葉の森公園芸術文化ホール

【出演】邦楽四重奏団

箏・三絃・十七絃：平田紀子、寺井結子、日吉章吾(ゲスト)
尺八：黒田鈴尊

【入場料】全席指定 一般 2,000円 U-30 1,000円 高校生以下 500円
※3歳未満ひざ上無料 (お席が必要な場合は有料)

【曲 目】「桜ファンタジー」：玉木宏樹 (2002)
「ゆき」：流石庵羽積 作詞/峰崎匂当 (古典)
「オブリビオン」「リベルタンゴ」：アストル・ピアソラ 旭井翔一 編曲 他

【プレイガイド】インターネット予約 <https://www.cbs.or.jp/aoba/>
青葉の森公園芸術文化ホール ☎043-266-3511
千葉県東総文化会館 ☎0479-64-2001
千葉県南総文化ホール ☎0470-22-1811



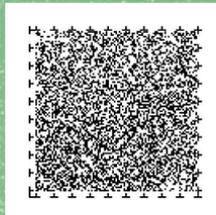
青葉の森公園
芸術文化ホールHP

【Uni-Voice】
この音声コードをスマホアプリUni-Voiceで
読み取ると音声情報でご確認いただけます

主催：  公益財団法人
千葉県文化振興財団

助成：  文化庁
文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援：千葉県、千葉市教育委員会、市原市教育委員会、習志野市教育委員会、八千代市教育委員会
佐倉市教育委員会、四街道市教育委員会、八街市教育委員会、東金市教育委員会、大網白里市教育委員会
茂原市教育委員会



～プロフィール～

邦楽四重奏団



2011年春、東京藝術大学邦楽科卒業生により結成されたカルテット。

「日本の伝統楽器で“今”と“これから”の音楽を創る」というコンセプトのもと、「作曲家への新作委嘱＝“今”と“これから”の邦楽を探求するための作曲家との共同活動」、「1960年代以降に作曲された現代邦楽名作群の再演」、そしてそれらの根幹となる「伝統的な三曲合奏（三絃・箏・尺八による古典合奏）」の三つの視座から活動を展開し、これまでに12回の定期公演を東京で開催している。

2015年NHK-FM放送「邦楽のひとつとき」にて野田暉行／松の曲（1976）を演奏。

2016年11月には1stCD「邦楽四重奏団 野田暉行邦楽作品集」（コジマ録音ALM RECORDS）を発売し、『レコード芸術』（音楽之友社／2016年12月号）にて特選盤、『音楽現代』（芸術現代社／2017年1月号）にて推薦盤に選ばれる。

その他「邦楽四重奏団プレイズ 下山一三 邦楽個展（企画：山本和智）」、「未来に伝える三善晃の世界II」、「邦楽四重奏団ニューヨーク公演（Asia Society・国際交流基金主催）」、「三井住友海上文化財団ときめくひとときコンサート（真庭市久世エスパセンター／蔵王町ふるさと文化会館ございんホール）」、「札幌コンサートホールkitaraランチタイムコンサート」「邦楽明日への扉第二回（公益財団法人日本製鉄文化財団主催）」「アップデートされる伝統～古典から現代まで～（企画：旭井翔一、(公財)福井県文化振興事業団主催）」などに出演し、その演奏は高い評価を得ている。

平田紀子 Hirata Noriko



大阪府出身。幼少より永田文子、深海さとみに師事。東京藝術大学卒業。在学中、宮城賞受賞。卒業に際しアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。宮城道雄記念コンクール・賢順記念くるめ全国箏曲祭コンクール・利根英法記念邦楽コンクールで1位受賞。アンサンブル室町「東方綺譚」公演で第13回佐治敬三賞受賞。CD「この音とまれ！時瀬高等学校箏曲部」で第72回文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。日本音楽コンクールをはじめとする作曲コンクールでの審査演奏に携わる。音楽祭、シンポジウムなどで各種箏の独奏をつとめ、様々な国の邦楽作品を紹介しながら邦楽の魅力と音楽性を発信することに力を入れている。2015～17年度東京藝術大学教育研究助手、18～19年度同大学非常勤講師。生田流箏曲宮城社教師。（公社）日本三曲協会、日本歌曲協会各会員。

寺井結子 Terai Yuiko



福島市出身。遠藤千晶に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。在学中宮城賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程修了。NHK邦楽技能者育成会第55期修了。第17回賢順記念くるめ全国箏曲祭コンクール第2位受賞。NHK邦楽オーディション合格。NHK-FM「邦楽のひとつとき」「邦楽百番」出演。「和楽器ルネサンス」（2018年）にて一柳慧作曲『密度』を、「ぎふ未来音楽展」（2019年）にて『秋の連歌—箏独奏のための—』『臨界域—三絃独奏のための—』を演奏し作曲家自身の助言を受け研究、研鑽を積む。これを契機に一柳氏の音楽に共感を覚え、2021年にCD「寺井結子プレイズ—柳慧邦楽作品集」（カメラータ・トウキョウ）を発売。『レコード芸術』2022年1月号にて“特選盤”、『音楽現代』2022年2月号にて“推薦盤”、読売新聞や朝日新聞でも取り上げられる等、現在好評発売中。古典から現代作品まで幅広く取り組むと同時に、邦楽の普及のための教育活動も積極的に行い、日本独自の音楽の魅力を広めるために活動している。生田流箏曲宮城社大師範。（公社）日本三曲協会所属。

黒田鈴尊 Kuroda Reison



人間国宝・二代青木鈴慕、三代青木鈴慕に師事。国際尺八コンクール2018inロンドン優勝。利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞。ブリュッセルでの国際現代音楽祭ARS MUSICAにて武満徹“November Steps”他、Claude Ledoux、Denis Levaillant、藤倉大、山本和智、Rafael Nassifなど多数の尺八協奏曲や桑原ゆう“葉落月の段”のソリストを務めるなど、多くのオーケストラとの共演や毎年世界各国での独演会、数多くの新作初演を通じ、尺八の無限の可能性を追求している。新作歌舞伎「風の谷のナウシカ」「Final Fantasy X」やCD、ラジオなどへ録音提供多数。アンサンブル室町（第13回佐治敬三賞受賞）、邦楽四重奏団（1st CDがレコード芸術誌「特選盤」）、The Shakuhachi 5、RigarohieSメンバー。令和元年度文化庁文化交流使。

日吉章吾 (ゲスト) Hiyoshi Shogo



静岡県出身。6才より生田流箏曲の手ほどきを三木千鶴師に受ける。のちに、金津千重子師に師事。2012年より高橋翠秋師に胡弓を師事。2015年より平家語り研究会に参加し、地歌箏曲の源流とも言える平家(平家琵琶)の伝承研究にも取り組んでいる。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業。同大学音楽学部邦楽科卒業。同大学院修了。NHK-FM「邦楽のひとつとき」「邦楽百番」などの放送や国立劇場、国立文楽劇場、新国立劇場の主催公演などに出演。また、フランス、スイス、ポーランド、トリニダードトバゴなど海外での演奏経験も積む。第1回利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞、賢順記念全国箏曲祭 第21回全国箏曲コンクール 銀賞及び福岡県知事賞受賞。2016年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞を受賞。箏曲正絃社師範。（公社）日本三曲協会、千鶴の会、森の会、平家語り研究会、各会員。重音会会友。東京藝術大学非常勤講師。